



News Release

07-D-1422
2008年3月25日

学校法人 青山学院 (証券コード: -)
長期優先債務格付据置: 「AA+」 (ダブルAプラス)
格付けの見通し: 「安定的」

株式会社日本格付研究所 (JCR) は以下のとおり長期優先債務*の格付けを見直し、据え置きとしましたのでお知らせします。

* 長期優先債務格付けとは、債務者 (発行体) の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。このうち、期限1年以内の債務に対する債務履行能力を評価したものを短期優先債務格付けと位置づけています。個別債務の評価 (債券の格付け、ローンの格付け等) では、債務の契約内容、債務間の優先劣後関係、回収可能性の程度も考慮するため、個別債務の格付けが長期優先債務格付けと異なること (上回ること、または下回ること) もあります。

発行体: 学校法人青山学院

【据置】

(対象)	(格付)	(見通し)
・長期優先債務	AA+	安定的

【格付事由】

- (1) 国内屈指のキリスト教系総合学園。本学院はキリスト教信仰に基づく建学の精神を、幼稚園から大学院に至るまで様々な形で浸透させている。06年に発表された「アカデミック・グランドデザイン」は、これまでの本学院の特色あるポジションを一層確固たるものにするプランであり、その着実な展開が期待される。一例として大学での2つの新学部は、青山・相模原キャンパスそれぞれの沿革と地理的特性を最大限活用した独自の教育・研究領域を対象としている。また、初等部から高等部までの12年間一貫制英語教材の開発・導入では、私立の総合学園としての強みと定評ある「英語の青山」としてのノウハウを結合させたものといえる。JCRはこうした既存資源の活性化に余念がないことが、各設置校の生徒・学生確保力の安定度が高い背景にあると見ている。加えて外部研究資金獲得に向けた支援や寄付金獲得活動に向けた体制の強化、さらには新たな収益事業の立ち上げ等、収益源の多様化に向けた取り組みにも積極的である。
- (2) 現在の学納金収入の安定度は、社会的ニーズに対応した大学の新学部の設置等によって厚みを増していくことが予想される。また、退職者の増加が続くものの、03年の相模原キャンパス開学以降、全学的にコスト管理が適切にされていることもあり、中期的に見たキャッシュフロー創出力の低下懸念は小さい。なお、07年度より青山キャンパスの再開発に着手しており、長期に亘って順次新築が進められる計画だが、当面の設備投資には安定したキャッシュフローと計画的に留保された引当特定資産での対応が可能な状況にあり、財務の健全性は維持可能と考える。
- (3) 企業経営出身者、教員出身者、キリスト教指導者で構成される本学院の理事会は、外部環境と学内との調和を図る意味でバランスの良い構成といえ、適切にリーダーシップの発揮によりガバナンスの確立が期待できる。また、07年12月に大学の新執行部が発足したが、「アカデミック・グランドデザイン」の実現促進に向けて法人・教学両執行部間に一段の融和が進むかに注目したい。なお、都内有力校の拡大志向が続いており、学校間のアライアンス、統合が進む可能性が高まっている。こうした環境変化が本学院に与える影響について留意していく必要はある。格付けの見通しは「安定的」である。

以上

(学校格付グループチーフ 吉田法男・シニアアナリスト 殿村成信)

格付けは、信用すべき情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を推奨するものではありません。格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

株式会社 **日本格付研究所**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル

<情報提供電子メディア (検索コード)>

BLOOMBERG (和文: JCRA / 英文: JCR) REUTERS (EJCRA)

QUICK (和文: QR / 英文: QQ) JIJI PRESS 共同通信JLS

<お問い合わせ先>

TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026 担当: 情報・研修部

http://www.jcr.co.jp